

子どもスキップ運営状況について

1. 事業概要

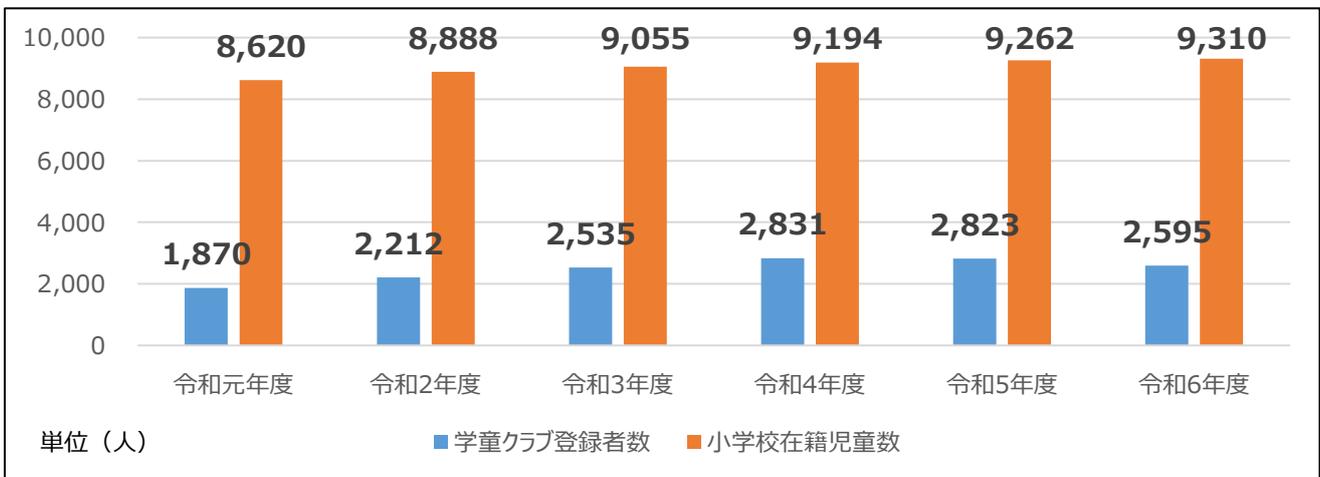
小学校の余裕教室や校庭などを活用した、放課後の「子供同士の遊びと交流の場」である。

平成 16 年に子どもスキップ南池袋の開設から、順次児童館をスキップに移行。平成 28 年に子どもスキップ池袋本町が開設し、区内 22 小学校内に整備された。

平成 29 年度からは事業を区長部局から教育委員会へ移管し、学校との連携を強化することにより、一元的な安全対策や施設改修を実現している。

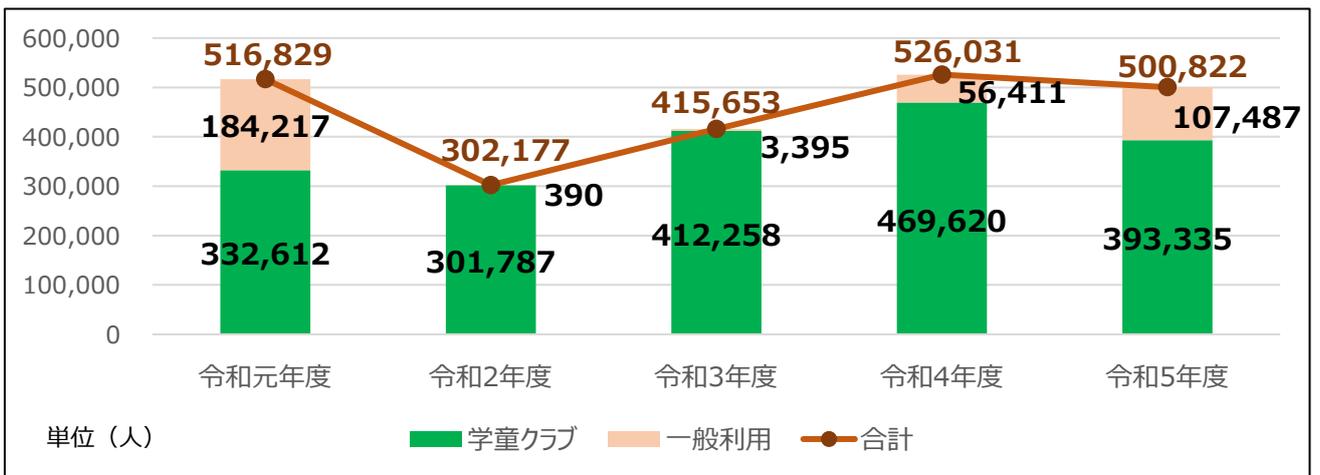
2. 子どもスキップの状況

(1) 学童クラブ登録者数の推移



※R1～R5 は 5 月 1 日現在。R6 のうち、学童クラブ利用児童数は申請者数（2024.131 現在）、小学校在籍児童数は推計値（令和 5 年度教育人口等推計確報値）

(2) 子どもスキップ年間延べ利用者の推移



※R2～R4 の一般利用は、学年や人数、日にちを限定して実施。

※R5 は 1 月末現在

※R5 は 5/8 から一般利用を全面再開

3. 令和4年度の事業報告

(1) 一般利用

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一般利用は休止し、人数・日数等の利用を制限して、「スキップの日」として実施。令和4年9月より一度帰宅してからの利用を再開、令和5年1月より1～3年生の直接利用を再開。

(2) 子どもスキップ施設改修等

①子どもスキップ池袋第一

老朽化に伴う校舎改築に伴い、令和2年4月から仮校舎(旧文成小学校)へスキップを移転していたが、令和4年8月に新校舎が竣工し、同年9月から新校舎内で運営開始

(3) 第6回子どもスキップまつり

①開催状況

放課後の活動発表及び各施設の取組みを紹介する場として、子どもスキップ・中高生センタージャンプ利用者、就学前の児童及び保護者を対象に、子どもスキップまつりを3年振りに対面実施した。感染症対策のため、受付名簿記入・検温・マスク着用・手指の消毒を徹底し、来場者は入替3部制とした。

②実施概要

日時：令和4年11月27日(日) 午後1時～4時

会場：南池袋小学校 体育館

内容：スキップ、放課後子ども教室、ジャンプによる舞台・映像・展示発表、スタンプラリー

③参加人数 670名(出演児童113名・来場児童159名 保護者・大人398名)

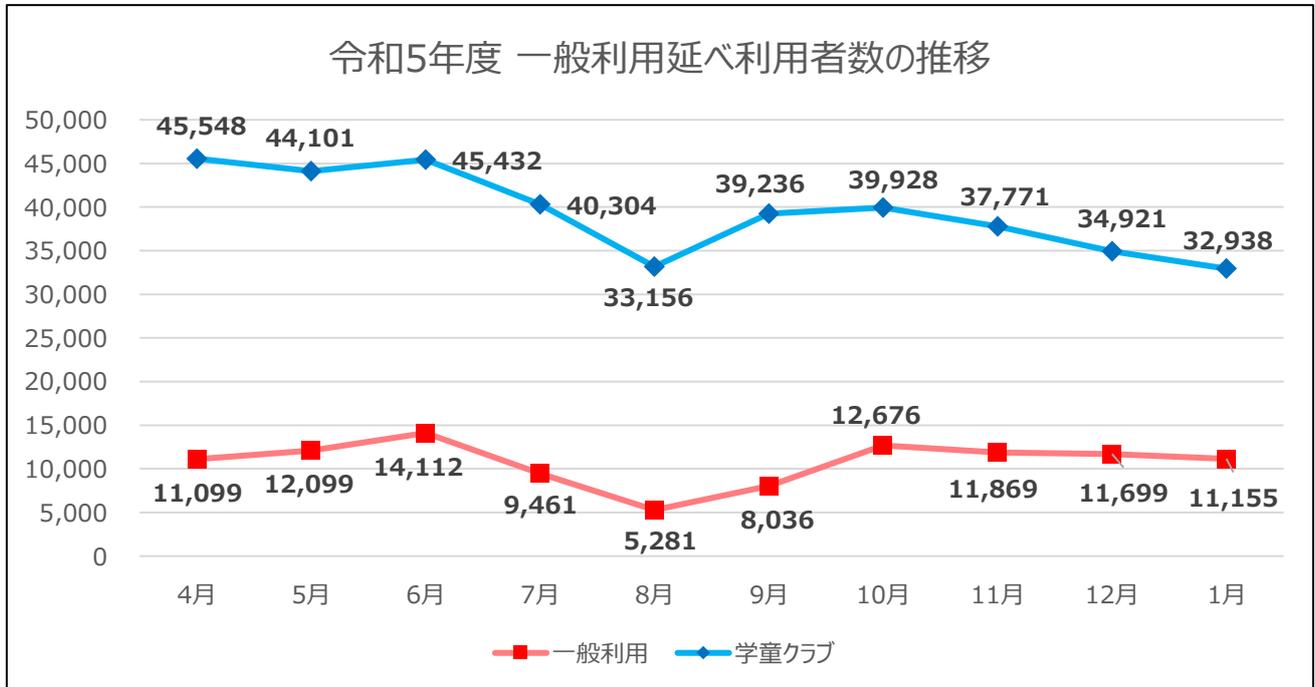
④来場者の主な意見

- ・子ども達がのびのびしているのが良くわかった。対面開催を今後も続けて欲しい。
- ・舞台発表が良かった。直接見られて良かった。
- ・展示も良かった。今後も続けて欲しい。
- ・子ども達の笑顔が輝いていて素敵でした。来て良かった。
- ・1施設5分は短くて残念だった。ステージ発表を多くして欲しい。
- ・入れ替え制でなく通して見たかった。
- ・ふれあいや体験ゲームなどできるコーナーも用意して欲しい。

4. 令和5年度の事業報告

(1) 子どもスキップ一般利用の全面再開

- ①新型コロナウイルスの感染症の「5類」移行を受け、令和5年5月8日（月）から一般利用を全面再開
- ②①に伴い、学童クラブ臨時入会を終了



(2) 子どもスキップ施設改修等

①子どもスキップ高南

高南小学校内の別棟建設に伴い、別棟1～2階を高南保育園建替え時の仮園舎として使用し、子どもスキップは令和5年10月に別棟3階へ移転した。高南保育園園舎完成後は、別棟内の改築を行い、改築後は別棟1階を子どもスキップ高南として使用する予定。

②子どもスキップ駒込

児童数及び学級増により、校舎内型スキップ施設が手狭となっているため、スキップ廊下部分の壁撤去工事を行い、スペースを確保した。

(3) 安全対策

①入退室管理システム

従来の学童クラブ入退室管理システムは、ICタグを専用機器にタッチする必要があったため、タッチ忘れや入退室時に混雑が生じるという課題があった。この課題に対応するため、マット式のハンズフリー設備を導入した。これによりICタグを所持した児童がマットの上を通過するだけでよかった。

(4) 第7回子どもスキップまつり

①開催状況

コロナ禍以前の規模での開催とし、4年ぶりにセンタースクエアで舞台発表・パネル展示を実施した。

②実施概要

日時：令和5年11月5日（日） 午後1時～4時

会場：センタースクエア（区役所本庁舎1階）

内容：子どもスキップ・放課後子ども教室・中高生センタージャンプによる舞台発表、パネル展示、創作作品展示

③参加人数 718名（出演児童137名・来場児童127名 保護者・大人454名）

④来場者の主な意見

- ・子どもたちの元気いっぱいな姿に元気をもらいました。
- ・スキップで練習したり、学んだことを発表できる場があるのは良いと思った。
- ・展示を見て、色々なことをやっていることが分かり、楽しく放課後の時間を過ごすことができている、親としてはとてもありがたい。
- ・展示はどの作品もユニークで面白かった。全スキップの展示がなかったのが少し残念。
- ・会場がもう少し広いといい。

5. 令和6年度新規拡充事業

（1）スクール・スキップサポーターの体制強化

①概要

子どもスキップに配置されているスクール・スキップサポーターを各施設1名ずつ増員し、2名体制とする。

②事業費

117,329千円（特財：13,954千円・一財：103,375千円）

（2）子どもスキップの環境整備

①概要

子どもスキップの保育環境について、床面（畳・カーペット）の修繕を3か年かけて行う。

②事業費

2,123千円（一財：2,123千円）